

「脱着車」と、多種多様な「コンテナ」で 仕事の幅が広がります！



脱着車とは？コンテナとは？

脱着車

コンテナ

コンテナ積載状態



専用引上げ装置で
引き上げられる

車両 専用引上げ装置



車両と専用引上げ装置を合わせて「脱着装置付コンテナ専用車」と車検証に記載されます。略して「脱着車」又は「キャリア」とも言います。



鉄製などの収納箱で、通称「コンテナ」と言います。コンテナは、法規上では「積載物」になります。

ダンプ状態



バラ物はダンプ排出も
出来ます！

**自動車運転免許以外の
資格不要**

自動車運転免許以外の特別な資格は
必要ありません。

**脱着車・コンテナの
組み合わせ自由**

互換性[※]が保証された「キャリア」と「コンテナ」であれば製作メーカーに関係なく搭載できます。

※互換性について

互換性を示す同色ラベルが「キャリア」「コンテナ」に貼られたもの同士は互換性を保証しています。
詳細は日本自動車車体工業会 HP を参照願います。

2 トン級ラベル



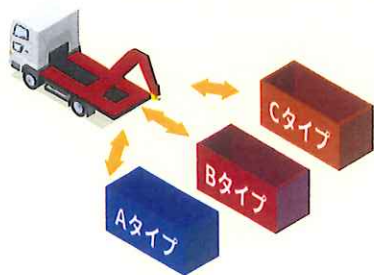
4 トン級ラベル



「脱着車」と「コンテナ」があればこんな利点が！

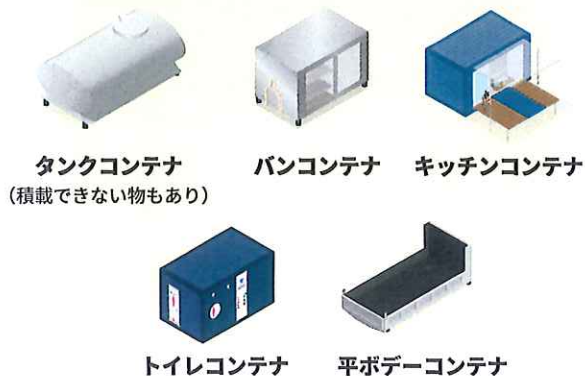
POINT
01

1台の脱着車で複数種類の
コンテナの取扱い可能



POINT
02

さまざまな業種の
ニーズに対応可能



「イベント会場」
「公園」「工事現場」
から「被災地」へ！

被災地活躍例



畜産連携活躍例

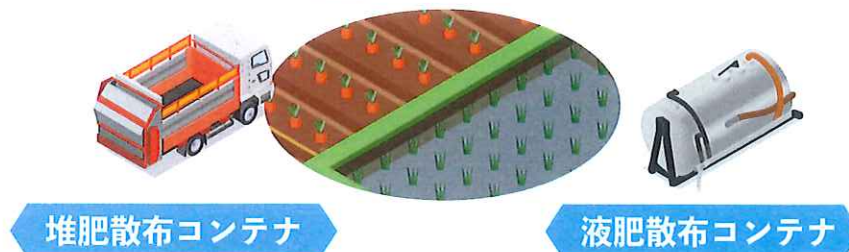
「耕畜連携」をサポート
する「脱着車」と
「コンテナ」

01 コンテナ積載
コンテナの回収は
一台で可能

03 ダンプ排出
(堆肥化処理施設)

02 積載物回収
脱着装置付
コンテナ専用車

04 田畑に散布
堆肥の散布も
コンテナで完了



もっと詳しく知りたい

こんなコンテナを作ってみたい

(一社) 日本自動車
車体工業会の HP



さまざまな用途で利用できるコンテナのご紹介

廃棄物の収集運搬で多く使用されている脱着車（キャリア）ですが、他にも形状の異なるコンテナを製作することで用途が広がります。

■トラックのボデーをコンテナに

特に稼働率の低いトラックボデーは
コンテナがおすすめ



タンクコンテナ

危険物以外のタンク車
ボデーをコンテナ化



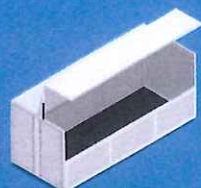
パッカーコンテナ

パッカー車のボデーをコンテナ化／キャリアに
載せてパッカー車／降ろしてプレスコンテナ



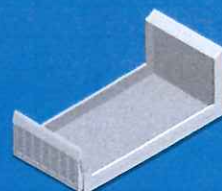
バンコンテナ

バンボデーをコンテナに
荷物の積み下ろしが楽々



ウイングコンテナ

ウイングボデーをコンテナ化



車載コンテナ

車の乗せ降ろしが楽々



吸引コンテナ

稼働率の低い吸引車のボデーを
コンテナにして経費削減

■設備（小型建築物・装置など）をコンテナに



ハウスコンテナ

内装を変えれば色んな用途に变身



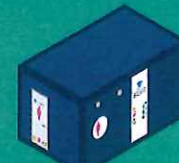
キッチンコンテナ

イベントや避難所などで活躍



装置コンテナ

装置をコンテナにして
移動・設置を容易化



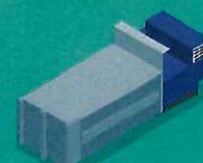
トイレコンテナ

イベントや避難所、グランピングなどで活躍



医療コンテナ

避難所にあれば安心



プレスコンテナ

コンファレンスセンターやホテル裏で
ごみを圧縮して一括収集

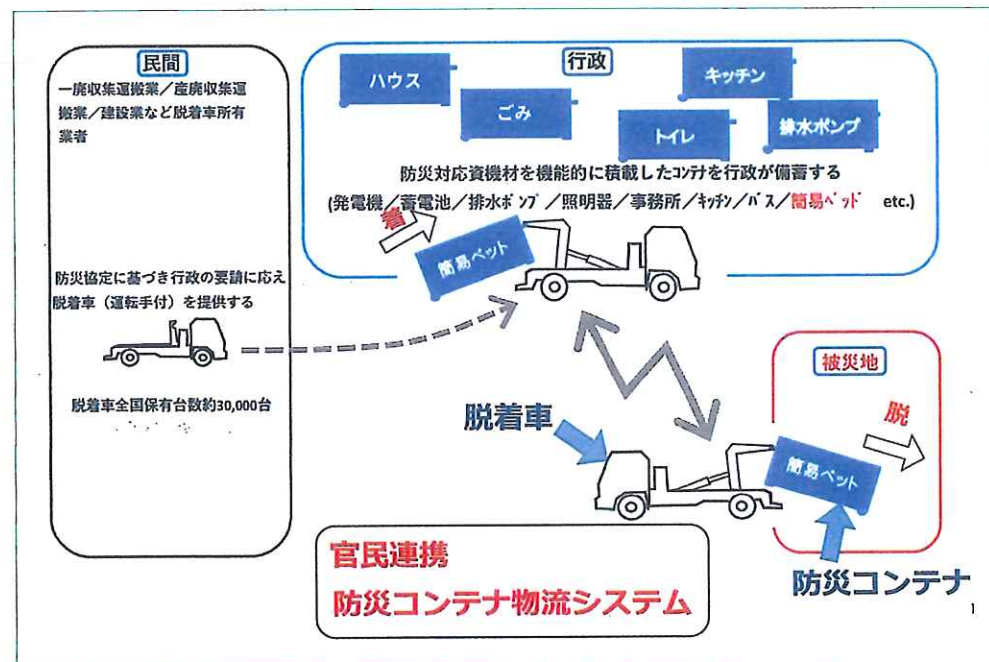
防災コンテナ物流システム

株式会社ティセンテクノ

【機能と特徴】詳細

01 | 『脱着車』を利用して、災害時に必要な『防災コンテナ』を輸送

このシステムは廃棄物収集運搬業者が所有している『脱着車』を利用して、災害時に必要な『防災コンテナ』を輸送する官民連携のシステムです。『脱着車』は平時、廃棄物収集運搬業者で「廃棄物コンテナ」の輸送・設置を行っています。



02 | 導入価格、維持費を軽減

このシステムは「廃棄物コンテナ」の廃棄物収集・輸送、設置などと同様、複数の『防災コンテナ』を1台の『脱着車』で運用できるため、導入価格、維持費を軽減できます。

03 | 保管・設置スペースを最小限に

車両一体型の特殊車両に比べ、保管・設置スペースが少なくて済みます。

04 | 荷役負荷が軽減

コンテナを地面に降ろしての積み込み作業が可能となり、荷役負荷が軽減されます。

05 | 車両の荷待ち時間の削減

荷物積み込み時間の削減が可能です。
(車両の荷待ち時間の削減)

06 | コンテナの取扱いに資格不要

コンテナを扱う為の資格は不要です。

07 | 平時、被災時併用可能

コンテナ＝倉庫としての使用が可能のため、例えば、平時は日用品倉庫として使用し、被災時には日用品を倉庫のまま避難所に輸送することができます。

08 | メーカーが異なっても適合『コンテナ』、適合『脱着車』であれば運用可能

2トン級、4トン級コンテナは日本自動車車体工業会規格（製作基準互換性適合）で、製作メーカーが異なっても適合『コンテナ』、適合『脱着車』であれば扱うことができます。



09 | 街中を走っている殆どのトラックの荷台をコンテナ化

装置類、ハウス等、街中を走っている殆どのトラックの荷台をコンテナ化できます。